

平成 17 年 12 月期 第 3 四半期業績の概況 (連結)

平成 17 年 10 月 28 日

会 社 名 株式会社カッシーナ・イクスシー (JASDAQ・コード番号：2777)

(URL <http://www.cassina-ixc.jp>)

代 表 者 役 職 名 代表取締役社長

氏 名 月岡 和夫

問 い 合 せ 先 責任者役職名 取締役執行役員管理本部長

氏 名 小林 要介

(Tel : (0 3) 5 7 2 5 - 4 1 7 1)

1 . 四半期業績の概況の作成等に係る事項

売上高 (又はこれに相当する事項) の会計処理の方法の最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無 : 無

2 . 平成 17 年 12 月期第 3 四半期業績の概況 (連結) (平成 17 年 1 月 1 日 ~ 平成 17 年 9 月 30 日)

(表示単位：百万円未満切捨て)

	売 上 高		営 業 利 益		経 常 利 益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17 年 12 月 期 第 3 四 半 期	7,009	(6.0)	560	(38.5)	529	(41.3)
16 年 12 月 期 第 3 四 半 期	7,460	(9.7)	911	(27.7)	902	(35.5)
(参 考) 16 年 12 月 期	10,251		1,321		1,299	

(注)パーセント表示は対前年同四半期増減率を示しております。

(ご参考)

平成 17 年 12 月期第 3 四半期業績の概況 (個別) (平成 17 年 1 月 1 日 ~ 平成 17 年 9 月 30 日)

(表示単位：百万円未満切捨て)

	売 上 高		営 業 利 益		経 常 利 益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17 年 12 月 期 第 3 四 半 期	7,003	(0.2)	489	(45.6)	458	(48.7)
16 年 12 月 期 第 3 四 半 期	7,019	(9.6)	899	(36.5)	893	(45.3)
(参 考) 16 年 12 月 期	9,807		1,278		1,269	

(注)パーセント表示は対前年同四半期増減率を示しております。

[経営成績の進捗情報に関する定性的情報等]

当第 3 四半期 (平成 17 年 1 月 1 日 ~ 平成 17 年 9 月 30 日) におきましては、平成 17 年 2 月に生活雑貨のアレッシィショップセントレア (中部国際空港) 店、平成 17 年 3 月には東京都渋谷区への新規出店 (カッシーナ・イクスシー プライベート店) や百貨店内へのインショップを展開するとともに、例年に増して魅力的な新商品を発売し、販売力、商品力の強化に努めてまいりました。

しかしながら、売上規模の大きい取引が少なかったことや東京都渋谷区の新規出店による増収効果が期待値を下回ったこと、さらに平成 16 年 8 月にインポートファッション事業を行う連結子会社であった株式会社トリアスの株式を家具及び周辺事業に経営資源を集中させるため売却した結果、同社が連結対象からはずれたため、連結売上高は 7,009 百万円（前年同期比 6.0%減）となりました（株式会社トリアスの前年同期売上高 439 百万円）。

利益面におきましては、新規出店に伴う人件費、賃借料等の増加や積極的な広告宣伝を展開したことにより一般管理販売費が先行的に発生したため、当第 3 四半期の連結業績につきましては、営業利益は 560 百万円（前年同期比 38.5%減）、経常利益は 529 百万円（前年同期比 41.3%減）となりました。また、セグメント別事業の状況は以下のとおりです。

家具事業

家具事業におきましては、主力商品の堅調な売上に加え、一昨年秋に発売を開始した比較的手頃な価格帯の「イースト・バイ・イーストウエスト」シリーズやマンションのモデルルーム向け販売が順調に推移しました。しかしながら、一般的に取引案件が小型化したことに加え、小売部門において新規出店（カッシーナ・イクスシー プライベート店）が十分な成果を得るに至りませんでした。この結果、当第 3 四半期の売上高は 6,085 百万円（前年同期比 0.6%減）、営業利益は 696 百万円（前年同期比 39.8%減）となりました。

生活雑貨事業

生活雑貨事業におきましては、アレッシィは前年同期比横ばいで推移したものの、カトリーヌ・メミヤや国内外から当社がセレクトした商品が順調に売上を伸ばしました。この結果、売上高は 829 百万円（前年同期比 2.4%増）、営業利益は 3 百万円（前年同期は 5 百万円の営業損失）となりました。

その他の事業

その他の事業におきましては、イベントスペースのレンタル事業が好調に推移したことにより売上が増加した結果、売上高は 93 百万円（前年同期比 9.4%増）、営業利益は 29 百万円（前年同期比 11.5%増）となりました。

(2) 当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象

該当事項はありません。

3. 平成 17 年 12 月期の連結業績予想

当該四半期における業績は概ね計画通りに推移しており、平成 17 年 2 月 18 日発表の平成 17 年 12 月期（平成 17 年 1 月 1 日～平成 17 年 12 月 31 日）の通期の業績予想に関して変更はございません。

以 上